

『愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1 巻 動物形態機能学／動物繁殖学』

(改訂第 2 版第 2 刷)

訂正とお詫び

掲載記事中、以下の記述に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様および関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press

2023 年 9 月 26 日作成

頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正
p. 99	動物形態機能学 第 5 章	「伝導のしくみ」 左上から 20 行目	生じるESAPは、閾値を超えても活動電位を～	生じるESAPは、 <u>単独では閾値を超えることな</u> <u>く</u> 活動電位を～
p. 216	動物形態機能学 第 7 章 からだの支持と運動	表 上から 3 行目 後背鋸筋の作用	吸気性筋	<u>呼</u> 気性筋
p. 363	動物形態機能学 第 12 章 尿の生成と体液調節	右段 下から 6 行目	尿中NH <sub>4</sub> <sup>-</sup>	尿中NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>
p. 380	動物繁殖学 第 1 章 性と生殖	「子宮および子宮頸管」 9～10 行目	右卵巣が左より尾側に位置しているため、	右卵巣が左より <u>頭</u> 側に位置しているため、